

国際シンポジウム

揺さぶられっこ症候群(SBS)を 知っていますか

JABA 日本弁護士連合会



『赤ちゃんがつかまり立ちから転んでしまった』
『ベッドから落ちてしまった』
『突然、容態がおかしくなった』

わが子の身を案じ、慌てて病院に向かったあなたに告げられるのは、身に覚えのない「虐待の疑い」かもしれません。
いま日本では、揺さぶられっこ症候群(SBS)と診断され、通報されることが増えています。
子育て世代や子どもの福祉・医療に携わるすべての人に、知っていただきたいお話です。

事前申込不要
参加費無料

2019年 **2月16日** (土) **13:00~18:00**

弁護士会館2階 講堂クレオBC

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-3
地下鉄丸の内線・日比谷線・千代田線霞ヶ関駅B1-b出口直通

《海外登壇者》

ウェイニー・スクワイア[Dr. Waney Squier]
元オクスフォード大学ジョン・ラドクリフ病院医師(神経病理学)
アンダース・エリクソン[Dr. Anders Eriksson]
ウメオー大学教授(法医学)

《国内登壇者》

桒中正博(関西医科大学医学部教授)
笹倉香奈(甲南大学法学部教授・SBS検証プロジェクト)
秋田真志(大阪弁護士会・SBS検証プロジェクト)
岩佐嘉彦(大阪弁護士会)
陳愛(大阪弁護士会・SBS検証プロジェクト)
川上博之(大阪弁護士会・SBS検証プロジェクト)
宇野裕明(大阪弁護士会・SBS検証プロジェクト)



主催：日本弁護士連合会、龍谷大学犯罪学研究センター

共催：東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、龍谷大学矯正・保護総合センター刑事司法未来プロジェクト(弁護士金子武嗣基金)、えん罪救済センター、甲南学園平生記念人文・社会科学奨励助成金「児童虐待事件におけるえん罪防止のための総合的研究」

お問い合わせ先：日本弁護士連合会法制第二課 TEL03-3580-9382 FAX03-3580-9920